

一九八八年度第二回運営委員会記録

日時 一二月六日 一四時～一七時

場所 明治大学・大学院

出席者 布施、岩本、柿崎、島崎、高橋（明善）、高山、長谷川、松田、皆川、安原、吉沢、工藤

一、次回大会について

(1) 日時、場所 大会開催事務局（明大・長谷川会員）より、日本社会学会（一〇月九・一〇日）に合わせ、一〇月六（木）・七日（金）に、神奈川県大井町の「いこいの村・あしがら」で開催する予定であると報告され、了承された。

(2) 共通課題

「農村社会編成の論理と展開——転換期における家と村落——」に決定した（一七頁参照）。

(3) 宿題委員

次の方々在今年度の宿題委員をお願いすることに決定した。

北海道 酒井恵真

東北 佐藤直由、岩本由輝

東京・関東 大内雅利、柿崎京一、柄澤行雄

○松田苑子、安原 茂

中部・近畿 鳥越皓之、古川 彰

中国・四国 大野 晃

九州 蘭 信三

○印は、委員長。

(4) 第一回関東地区研究会

一頁の案内参照

二、研究連絡委員

高橋明善会員に決定した。

三、編集委員会報告

「村研年報編集委員会より」を参照。

四、会計決算報告

五、会費未納者の取り扱い

八一年度以前の未納者に対しては、請求の上なおかつ未納の場合は退会したものとす。